

中小機構のカーボンニュートラル支援施策のご紹介

(独) 中小企業基盤整備機構
関東本部 企業支援部 企業支援課
2026年2月27日

中小機構の支援体制

所在地：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

根拠法：独立行政法人中小企業基盤整備機構法

設立：平成16年7月（中小企業総合事業団、地域振興整備公団、産業基盤整備基金の三法人が統合）

基本理念：中小機構は、中小企業や地域社会の皆様に多彩なサービスを提供することを通じ、豊かであるおいのある日本を作るために、貢献致します。

主要拠点：本部（東京）
地域本部（9ヶ所）
中小企業大学校（9校）

全国に広がるネットワーク

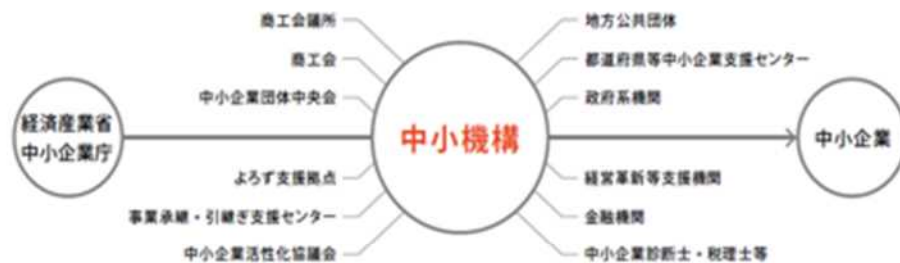


資本金：1兆2116億6908万9963円（2025年12月16日現在）

役職員：役員13名 職員822名（2025年4月1日現在）

主務大臣：経済産業大臣及び
財務大臣（産業基盤整備業務について共管）

関係機関と連携してサポート。



関東本部の所管エリア・地域



中小企業の経営課題に応じた幅広い支援メニュー

『我が国で唯一の中小企業政策全般にわたる総合的な実施機関』

- 創業から企業の成長・発展、事業再生までを総合的に支援
- 全国ネットワークを活かして高度・広域な支援を推進
- 支援ノウハウを活かして、地域の支援機関の支援機能の向上を支援
- 地域の支援機関、大学、金融機関等と連携して中小企業を複合的に支援
- 全国約3000名の専門家や中小企業支援に精通した職員等の人的資源を活用

経営相談

経営相談等

経営課題に対しオンライン・対面など様々な方法で各分野の経験豊富な専門家がアドバイス

ハンズオン支援

成長に向けた経営課題に取り組む社内プロジェクトに専門家チームが伴走してアドバイス

人材育成

中小企業大学校研修

中小企業大学校や地域本部において、各種研修を通して人材育成をサポート

WEBee Campus

Web会議システムにより職場にしながら受講できる研修を提供

サテライト・ゼミ

全国各地の支援機関や金融機関等と連携し、少人数参加型の研修を実施

地域支援機関サポート

中小企業支援機関の支援能力の向上をサポート

事業の創出

TIP*S/BusiNest

新しいアイデアを磨く方や創業者・創業期の企業のためのビジネス拠点

起業相談AIチャットボット

起業準備者・関心者を対象にAIが起業に関する質問等に回答

インキュベーション

インキュベーションマネージャーによる経営相談、産学官金連携等もサポート

FASTER

ベンチャー企業の資金調達や事業提携に向けた伴走型の短期集中型アクセラレーター(成長加速化)支援

ファンド出資

設立5年未満の創業、成長初期段階のベンチャー企業、事業の再生等への投資を目的としたファンドに対して出資

JapanVentureAwards

次なる日本のリーダーとして果敢に挑戦する起業家を表彰

事業の発展

海外展開支援

海外展開を検討する段階から、海外事業計画作成、海外進出まで、様々なメニューにより支援

販路開拓支援

中小企業と国内外の企業をつなぐ「J-GoodTech」、地域活性化パートナー制度、eコマースの活用などにより販路開拓をサポート

高度化事業

中小企業が共同で利用する施設に対し、地方自治体と連携。融資や専門家のアドバイスを実施

事業の継続

事業承継・事業引継ぎ

中小企業事業承継・引継ぎ支援全国本部として後継者不在企業の事業引継ぎをサポート

事業再生支援

中小企業活性化全国本部として中小企業の再生等をサポート

共済制度

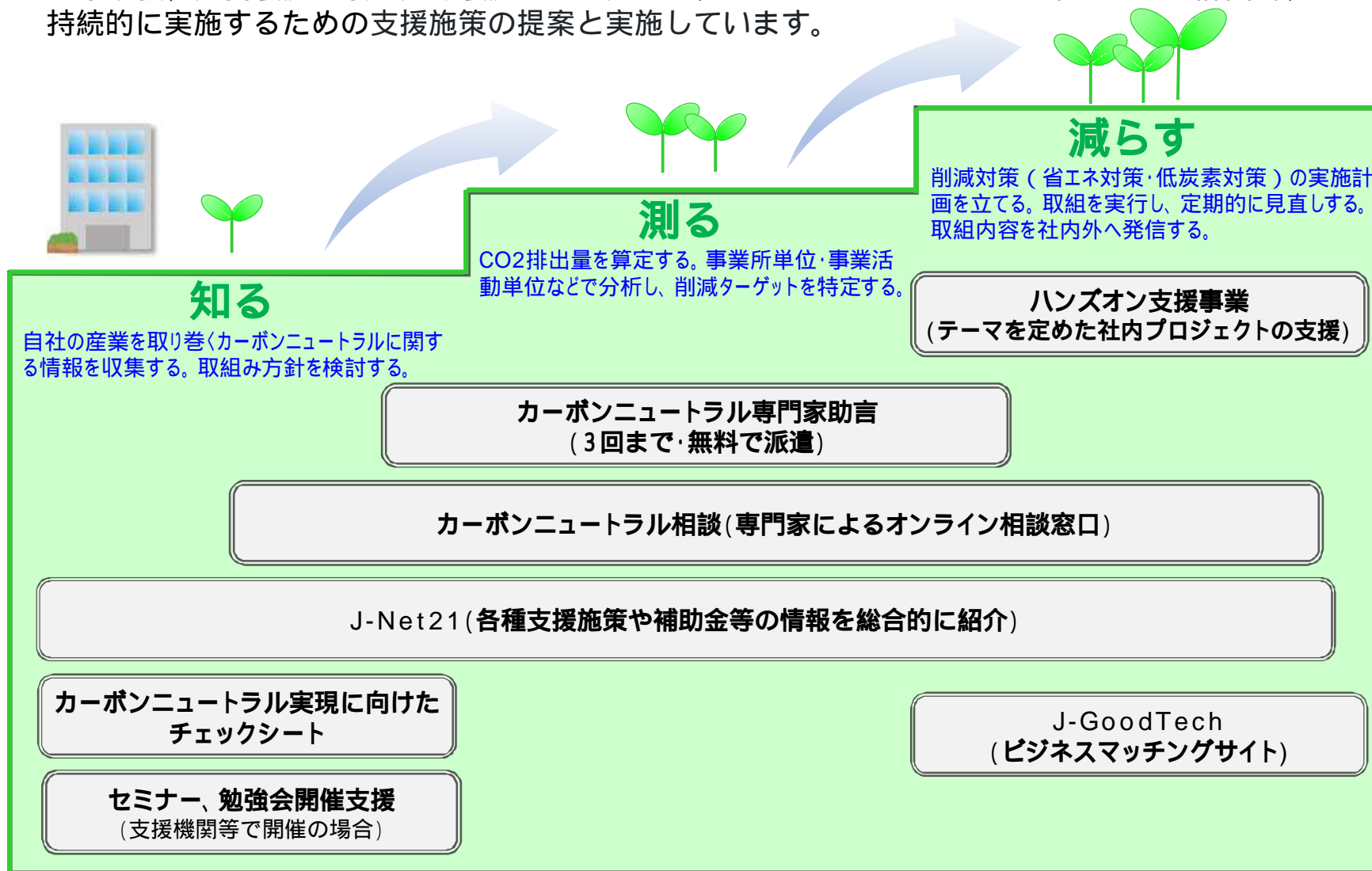
質の高いセーフティネットの提供

連携事業継続力強化計画

自然災害や感染症流行など、事業継続に支障となる事態への備えをサポート

中小機構のカーボンニュートラル支援施策（全体像）

- 中小企業が取り組みを進めるにあたっては、カーボンニュートラルについて知る、排出量等を把握する（測る）、排出量等を削減する（減らす）、の3つのステップで進めることがポイント。
- 企業規模、経営状況や取り組み状況などに応じて、カーボンニュートラルの取り組みを計画的、持続的に実施するための支援施策の提案と実施しています。



中小企業向け勉強会・セミナー

- 支援機関等にて、参加する中小企業様を募集し、開催案内等の対応を頂ければ、中小機構から無料で講師を派遣致します。

開催しませんか？
【中小企業向けセミナー・勉強会】

カーボンニュートラル
／脱炭素経営／GX

支援機関等が開催する
セミナーや勉強会へ
講師を派遣します！

削減
CO₂ CO₂ CO₂ CO₂ CO₂
±0
吸収・除去

国内外動向・法制度
• 規制強化
• 規制、政策即採調整備措置(CSAP)
• 企業メトリック

取引先
• 排出量算定・算出の提供依頼
• 排出量削減の取組の要請
• 取引相手の選別

金融機関等
• ESG投資
• 取引企業への有利な金利提供

消費者
• 環境にやさしい商品・サービスの購入
• カーボンフットプリント表示

講師派遣料
は無料！

参加する中小企業様を募集し、開催案内等の対応を頂ければ、中小機構から講師を派遣致します。対面型 / オンライン開催のいずれも、対応可能です。

会場開催の場合、会場手配や機材のご準備をお願いしています。

経験豊富な
専門家

実際にカーボンニュートラルに関する相談窓口や、中小機構のハンズオン事業（専門家派遣により経営課題の解決を支援する伴走型支援施策）においてカーボンニュートラルをテーマとした案件の支援を担当している実務経験の豊富な専門家が講師として登壇致します。

内容・時間
個別に調整

説明内容や講演時間は、ご相談の上で個別にアレンジ致します。

- ・講演後に、専門家との個別相談会の時間を設けるような企画も検討可能です。
- ・自社のCO₂排出量の算定方法を簡易的なワークシートを用いて理解するような内容を盛り込むこともできます。

実績

自治体（県、市）、金融機関、商工団体、業界団体主催の中小企業向けセミナー・勉強会や、大手メーカーのサプライヤー（中小企業）向けのセミナー・勉強会など多数実施。

「カーボンニュートラル相談窓口」 どなたにでも使っていただきやすい

- 中小企業・小規模事業者の方々を対象に、オンライン相談（火曜日・木曜日開催、1回1時間）にて、経験豊富な専門家がカーボンニュートラル・脱炭素化の実現に関するアドバイスを行っています。
（例）「自社のCO2排出量を測定する方法を知りたい」「環境配慮型の取組みをPRしたい」

カーボンニュートラル相談窓口（事前予約制）

お申込は
こちら



The poster features the 'Sustainable Development Goals' logo and the text 'Be a Great Small. 中小機構' (Be a Great Small. SME Agency). The main title is 'カーボンニュートラル相談窓口' (Carbon Neutrality Consultation Window). It highlights three key features: '経験豊富な専門家によるアドバイス' (Advice from experienced experts), '無料で何度でも' (Free of charge, anytime), and 'オンライン相談' (Online consultation). Below these, it states: '中小機構では、中小企業・小規模事業者の方々を対象に、カーボンニュートラル・脱炭素に関する相談について専門家がアドバイスを実施しています。' (The SME Agency provides advice from experts on carbon neutrality and decarbonization for SMEs and small businesses). A central illustration shows a person holding a globe with a plant growing on it, surrounded by icons of wind turbines, solar panels, and trees. A speech bubble contains questions: 'SBTって何ですか？' (What is SBT?), 'CO2排出量を減らすにはどうするの？' (How to reduce CO2 emissions?), '取引先にアピールするにはどうするの？' (How to appeal to suppliers?), '再エネ電力を使用したい。' (I want to use renewable energy.), 'CO2排出量ってどうやって調べたいの？' (How to check CO2 emissions?), and '経営にどう活かしたらいいの？' (How to use it for business?). At the bottom, it says '中小機構のカーボンニュートラル相談窓口をぜひご利用ください！' (Please use the SME Agency's carbon neutrality consultation window!).

Point
01

無料・オンライン・何度でも

Point
02

CNの様々な疑問・悩みに対応

Point
03

経験豊富な専門家がアドバイス



北林 博人（きたばやしひろと）

- ・専門分野: 環境経営（GX、CN、資源循環、各種CO2排出量算定）
- ・専門業種: 製造業など、全般
- ・資格: 中小企業診断士、第一種公害防止管理者

高鹿 初子（こうろくはつこ）

- ・専門分野: 環境経営（CN、法制度、中小企業SBT認定、CO2排出量算定、CO2見える化、サプライチェーンでの排出量算定など）
- ・専門業種: 全般
- ・資格: 中小企業診断士、技術士（情報工学部門、総合技術監理部門）、システムアナリスト、ECO検定



<https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/sdgs/favgos000001to2v.html>

- お申込（QRコードまたは下記URLから） -

<https://service.smrj.go.jp/cas/customer/questions/c52fb071792641268ebf2d539966449b>

「カーボンニュートラル相談窓口」 相談事例

取組検討・情報収集

・省エネ・カーボンニュートラルへの取り組み方法の概要や具体的手段の例を教えてください。

・取引先から、カーボンニュートラルに取り組んでほしい旨の依頼があった。サービス業として実施が可能な取組みについてできるだけ具体的に知りたい。

・取引先から受けた調査の中でCO2排出量関連の問合せ項目の比重が高くなってきた。カーボンニュートラルの取り組み姿勢も求められ始めており、将来的な取引の継続の観点から、取り組まないリスクを感じている。

・外部に取組を客観的に示す方法としてSBTを活用したいので、SBTの制度の概要、申請の要件、申請作成手順等について、詳しく教えて欲しい。



取組推進中の発生課題

・SBT認証を取得し、Scope1,2の取組について目処が出来てきたのでScope3の取組を進めている。
・Scope3への取組を進める上で、不明点や課題が出てきたので相談したい。



・システム導入してSCOPE1,SCOPE2の測定を昨年からは始めている。当社顧客は環境意識が強く、もっと環境への取組をアピールしたいと考えており、対応について具体的に相談したい。



・取引先よりSBT認証取得の要望があり、対応を進めている。SBTの個別の申請項目に対して、不明な点が出てきたので相談したい。

・取引先(Scope3)へのGHG排出量の削減要請はどのように進めて行くべきか？

- 相談するハードルが低くて助かった。対応策の全体像と「はじめの一步」を踏み出す方法が明確に理解できた。進める都度これからも課題が出てくると思うのでまた相談したい。
- 相談した課題解決だけではなく、市場動向を含めた資料と出典元を教えてください参考になった。
- ポイントを絞った具体的な相談をしたが、相談実施前に資料を確認して当社の特徴を踏まえた上で具体的なアドバイスを受けることができたので、今後の取組みにすぐに活かせる点がとても役立った。



「カーボンニュートラル専門家助言」 CO²排出量の算定等に取り組んでみる

- 排出量算定に着手する企業の取り組みを中小機構の専門家が支援します。
- **最大3回の訪問支援**を通じて、CO²排出量の簡易的な算定に取り組んで現状や課題を把握し、今後の削減対応を検討するための助言を行います。カーボンニュートラルの取り組み方の全体像が理解できます。

カーボンニュートラル専門家助言（訪問 / オンライン）

The infographic is titled "カーボンニュートラル実現の第一歩をお手伝いします!" (We will help you take the first step towards carbon neutrality!). It features the "Be a Great Small" logo and "Sustainable Development Goals" branding. A central message asks, "CO₂排出量算定にお困りではありませんか?" (Are you having trouble with CO₂ emission calculation?). The support overview states that experts provide free advice (最大3回まで) on CO₂ calculation. The support content is divided into three steps: 1. 現状把握 (Current Status Confirmation) - creating a CO₂ emission calculation sheet; 2. 課題発見 (Issue Identification) - reviewing the sheet to identify issues; 3. 削減対応の検討 (Reduction Strategy Discussion) - setting targets and discussing actions. The benefits section lists: environmental management plans, visible CO₂ emissions, and improved trust from stakeholders.

以下の事業者におすすめ！

- ・ 設備を多く保有している事業者（製造業）
- ・ 企業規模の比較的大きい事業者
- ・ 算定方法を自社で理解したいと考えている事業者

支援活用例

01回目 現状把握

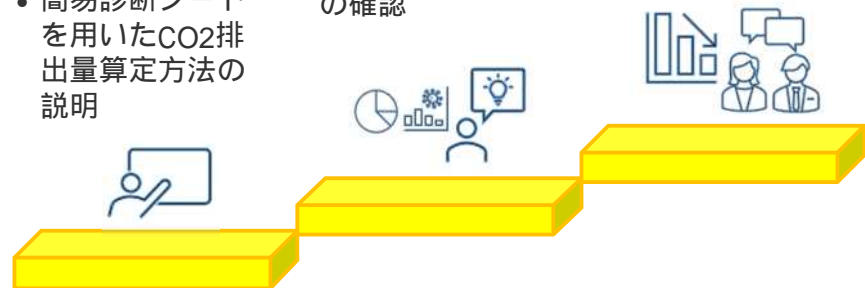
- ・ カーボンニュートラルの概要の説明
- ・ **現地視察と設備使用状況の確認**
- ・ 簡易診断シートを用いたCO₂排出量算定方法の説明

02回目 課題発見

- ・ 簡易診断シートのレビュー
 - ✓ 月/年の使用量推移
 - ✓ Scope1,2の割合
- ・ 削減目標の設定
- ・ 生産設備のエネルギー使用状況の確認

03回目 削減対応策

- ・ 現在行っている施策の確認
- ・ 削減対応策の検討
- ・ 課題の明確化
- ・ 中長期の活動計画の検討
- ・ 推進体制と全社活動方針の確認



「カーボンニュートラル専門家助言」 支援事例

- 静岡県裾野市の株式会社東明電気製作所様は、取引先の手元メーカーからの「エコアクション21」取得の推奨を受けたことを契機に、省エネや3Rの取組を開始されました。
- そのようなタイミングで中小機構の専門家助言を知り、3回の支援の中でScope1・2を算定、CO2排出量を見える化するとともに、カーボンニュートラルの知識を深められました。
- 支援の中でSBT認証の存在を知り、得られた情報を活かして認証取得に挑戦。社員のモチベーション向上や商談の際の反響に繋がっています。今後は情報発信にも力を入れ、業界内の中小企業のモデルケースになることを目指して引き続き社員全員で頑張りたいと思います。



(画像出典、参考)中小機構HP『J-Net21』
<https://jnet21-snavi.smrj.go.jp/special/cn/tohmeidenki.html>

「ハンズオン支援」 専門家派遣による本格的な伴走型支援

- 具体的に取り組むべき課題や対応テーマが見えてきた企業向けには、経験豊富な専門家を派遣し、経営課題の解決をサポートする伴走型支援の仕組みを設けています。カーボンニュートラルに関する取組も対応しています。
- 経営課題の把握から解決までのプロセスを自社で遂行できるようアドバイスを行っています。

1. 概要

- 経験豊富な専門家を継続的に派遣し、成長に向けた経営課題の解決に伴走。
- 社内プロジェクトに専門家を派遣、課題の把握から解決までのプロセスを自社で遂行できるよう、プロジェクト・メンバーにノウハウを移転していくことで、支援終了後も企業自ら成長・発展する仕組みづくりにつなげます。
- 支援中は中間報告会や終了報告会を設け、メンバーによる発表を通じて課題解決へのコミットと個々の成長を推進します（「発表の場は成長の場」）。
- ニーズや状況に応じ、「専門家継続派遣事業」「戦略的CIO育成支援事業」等から最適な機構メニューをご提案します。

2. 対象企業・要件

地域の中核企業および成長意欲のある中小企業
 （中長期的な経営課題に、社内プロジェクトを組んで主体的に取り組む意欲があること）

3. アドバイザーの支援期間と費用負担

支援計画を策定し、月2回の支援を4ヶ月～10ヶ月の間、継続して行います。
 支援期間中は、派遣アドバイザーの派遣日数に応じ17,500円/日をご負担いただけます。

◆ 支援前後の流れ

- ・支援前に機構職員や専門家が十分な調査を行い、目標・計画・体制などを支援計画にまとめご提案します。
- ・ご相談や事前調査を踏まえて機構職員と専門家が派遣アドバイザーを選定し、企業との事前面談「アドバイザーマッチング」を経て支援チームを決定し、支援を行います。
- ・採択審査があり、ご希望に添えない場合があります。

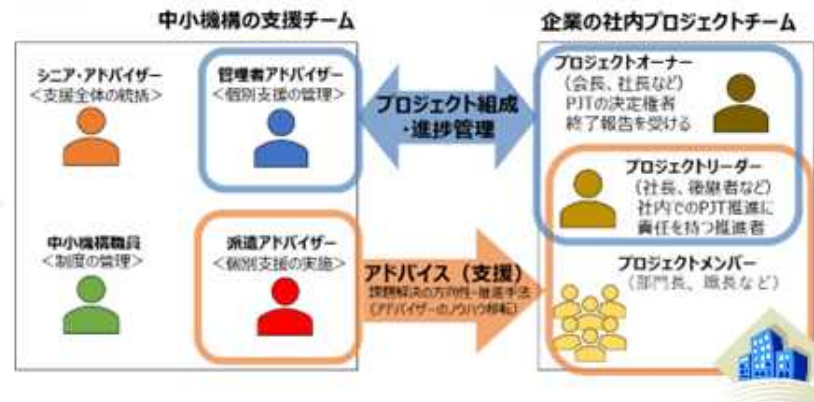


◆ 活用例：経営課題と典型的なハンズオン支援の例



◆ チーム支援×プロセス型支援で課題解決ノウハウを移転

- ・支援チームメンバーが役割遂行しながら、プロジェクトの進捗管理・成果評価・派遣終了後のフォローを行うことで、新実に成果を生み出す支援を行います。
- ・支援計画に沿って課題の把握から解決までのノウハウを移転するプロセス型の支援を行います。



「ハンズオン支援」を活用した社内プロジェクト例

- ハンズオン事業では、社内プロジェクト支援の進め方や順序、範囲について企業様と事前に十分に検討・相談し、「支援計画書」を作成してからハンズオン事業による支援を開始します。（事前検討期間は無料）
- 支援終了後も企業様による自走が可能な全社的カーボンニュートラル推進体制の構築、ノウハウの蓄積を目指します。

	実施した主な内容	期間
現状把握	<ul style="list-style-type: none">• GHG排出量の算定方法の確立、現状把握• 削減ポテンシャルの把握	2ヶ月・4回訪問
削減計画	<ul style="list-style-type: none">• GHG排出量削減計画の立案• 削減方法の検討、削減のロードマップ作成	2ヶ月・4回訪問
認定申請	<ul style="list-style-type: none">• 中小企業版SBTの申請• 中小企業版SBT登録後の取組体制と活動計画の検討	2ヶ月・4回訪問

支援の進め方や内容については企業様と事前に十分に検討・相談をします。

支援先企業 成果

- 継続的なCN推進体制の構築（CN推進委員会の設立、マニュアル・ロードマップの策定）
- CN推進のためのスキルの蓄積（中小企業向けSBT認証取得、CFP算定方法等の習得）
- 外部へのアピール → **新聞記事掲載や新規受注獲得の事例も**
- その後現場も巻き込み、削減ロードマップを実現するための実行支援を実施したケースも

「ハンズオン支援」(支援事例)

- ハンズオン支援先企業である、**(株)三静工業** < 静岡県三島市松本181 > (アルミダイカスト製造) の、全社一体となったカーボンニュートラルに向けたプロジェクトが評価され、**2025年度 省エネ大賞「中小企業庁長官賞」受賞**。
- カーボンニュートラル対応を新たな武器に販路開拓、企業価値向上等に繋げている。

2025年12月16日
株式会社三静工業

報道関係各位



カーボンニュートラルへの取組み 株式会社三静工業 中小企業庁長官賞 受賞 テーマ: 目指せ! 全員参加のカーボンニュートラル

アルミダイカスト部品の製造・販売を行っている株式会社三静工業(静岡県三島市、社長:向坂政明)は、一般財団法人省エネルギーセンターが主催する2025年度省エネ大賞※1の省エネ事例部門において、「**中小企業庁長官賞**」を受賞しました。1月28日に東京ビックサイトにて表彰式が行われます。

株式会社三静工業の取組みと受賞までの経緯

三静工業は1966年に設立されたダイカストメーカーで、設計から鋳造、加工までを一貫して行っております。エネルギーを多く使うアルミダイカストの製造において、環境に配慮した活動を続けてきました。1986年から特殊ダイカスト(HVSC)技術を導入し、鉄鋳物からアルミダイカストに置換えることで、素材の軽量化やCO2排出量削減に着目してきました。2022年には最新鋭の省エネ型サーボモーター制御のHVSCダイカストマシンを導入し、さらなる高品質・短納期化を実現しています。

今回、地球温暖化対策として中小企業SBTの認定を受け、2021年を基準年として2030年までに2000トンのCO2排出量削減を目指しています。

今回の取組みは、SZP(SANSEI ZERO Project)を組織し、全社員参加のSZ活動を開始し、2021年から2024年の活動(例:全社LED化、湯汲みによる溶解保持炉ガス停止促進、溶解保持炉のエネルギー転換等)を実施し、3年間でCO2排出量1,055トン、原油換算削減量600KLの削減に成功、2025年度も継続して目標を達成しております。この活動を報告する機会を頂き、今回の受賞となりました。この場をお借り

今回の取組みは、SZP(SANSEI ZERO Project)を組織し、全社員参加のSZ活動を開始し、2021年から2024年の活動(例:全社LED化、湯汲みによる溶解保持炉ガス停止促進、溶解保持炉のエネルギー転換等)を実施し、3年間でCO2排出量1,055トン、原油換算削減量600KLの削減に成功、2025年度も継続して目標を達成しております。この活動を報告する機会を頂き、今回の受賞となりました。この場をお借りしまして、ご支援いただきましたお取引先様を始め、全てのステイクホルダーの皆様には厚く御礼申し上げます。

三静工業では温室効果ガスの削減目標達成に向け、将来的には水素をはじめとする新技術の導入の検討を行うとともに、取引先へのCO2排出量削減の提案、協力会社との技術協力と地域のカーボンニュートラルへの取組みなど、脱炭素社会への移行に積極的に貢献してまいります。

※1:省エネ大賞とは、優れた省エネの取り組みを表彰する制度です。



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社三静工業 担当: 武田 TEL: 会社 055-977-2054 MAIL: takeda@sansei-ind.com

【会社概要】

社名: 株式会社三静工業
本社所在地: 静岡県三島市松本181
代表取締役社長: 向坂政明
設立: 1966年2月
HP: <https://sansei-ind.com/>

個別支援施策まとめ

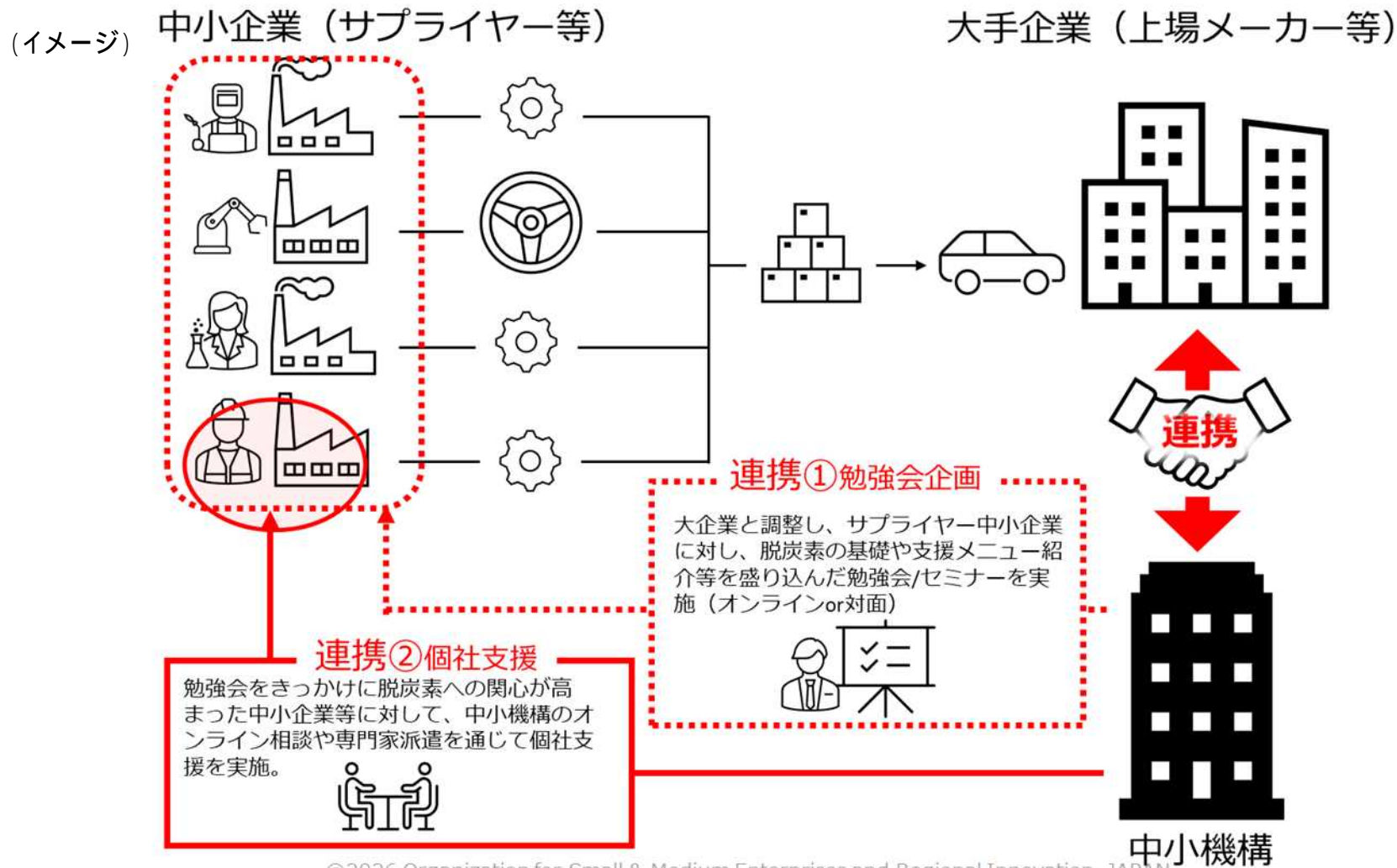
気軽に ← → 本格的

	カーボンニュートラル 相談窓口	カーボンニュートラル 専門家助言	ハンズオン支援 (カーボンニュートラル)
実施形態	対面（原則中小機構への来所） またはオンラインで1回1時間で 専門家が相談対応	対面（現地訪問）またはオンライ ンで専門家が課題の整理及び助言 を実施	社内プロジェクトに対して専門 家派遣を行い伴走支援を実施。
費用	無料	無料	17,500円/日
支援回数	1回（何度でも利用可）	最大3回	月2回支援 × 4～10か月
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 間口が広く使いやすい（規模問わ ず、ライトな相談から何でもOK） ✓ コツコツ進められる。 ✓ 中小企業へのCN支援経験豊富なア ドバイザーが対応（～全共 通） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現地訪問・回数を重ねての助言を行 うため、企業の状況・課題に則した 深いアドバイスが可能。 ✓ CO2排出量の簡易的な算定に取り組ん で現状や課題を把握し、今後の削減 対応の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ～の中では最も手厚く、長 期間の支援を実施。 ✓ 広く内部・外部環境をヒアリン グして、個社の事情に応じた総 合的な課題解決を伴走支援。
相談例	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「CNについてそもそもよく分からな い」 ✓ 「CNは当社の業種・業態でも関係が あるのか？」 ✓ 「取り組みたいとは考えているが、 何から始めたら良いのか分からな い」 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「自社のCO2排出量の可視化を試みた いが、進め方について助言してほし い」 ✓ 「自社で本格的にCNに取り組んでいき たいが進め方が分からない」 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「カーボンニュートラルに全社を挙 げて取り組み、競争力強化に繋げたい。 SBT認証の取得も目指したい。」 ✓ 「カーボンフットプリント算定に取り 組みたい」

カーボンニュートラル専門家助言 ハンズオン支援のご利用には一定の条件がございます。

大手企業と連携したサプライヤーのカーボンニュートラル推進

- サプライヤー中小企業のカーボンニュートラルを推進したい、大手企業と連携した支援も実施しております。
- サプライヤー全体に対するセミナー、勉強会による全体のレベルアップと個社支援による先進事例の創出の両面からサポートが可能です。



大手企業との連携したサプライヤー様支援事例（株式会社明電舎 様）

- Scope3の削減のためサプライヤーの脱炭素化を図りたい大手企業と連携してサプライヤーの支援を実施。
- **グリーン・バリューチェーンプラットフォーム**（サプライチェーン全体の脱炭素経営を支援するための環境省の情報集約サイト）にて、**株明電舎様**が取材を受け、**中小機構との連携事例**など、**サプライヤーの脱炭素化の取り組みを紹介する記事が掲載された。**
- 優れた取り組みを行ったサプライヤーを表彰する株明電舎様の式典にて、**中小機構の支援先が優秀賞を受賞したこと**なども取り上げられている。



取引額や環境リスクが大きいサプライヤーには、様々な中小機構の支援メニューを活用してもらうことで、支援しています。

支援を行うことで、サプライチェーン全体のレベルアップ、サプライヤーとの信頼関係の向上、サプライヤーの皆様の意識の変化といった効果が見られた。

画像出所：環境省HP「グリーンバリューチェーン・プラットフォーム」記事『株式会社明電舎インタビュー サプライヤーと共に挑むー明電舎のScope3削減への挑戦』

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/interview_03.html

「J - Net 21」のご紹介 最新の情報を『知る』

- J - Net 21では、中小企業経営者の課題解決をサポートする最新の支援情報や事例を発信しています。
- カーボンニュートラルについては特集ページが設けられており、取組のポイントの他、各種支援施策や補助金等の情報を総合的に紹介しています。
- カーボンニュートラル実現に向けた手順を理解しながら現在の自社の取組み状況を確認するためのセルフチェックシートも掲載されています。



中小企業・小規模事業者のためのカーボンニュートラル

近年、脱炭素経営に向けた企業の取組が急速に広がっています。カーボンニュートラル実現のポイントや支援情報などを紹介します。

カーボンニュートラル実現に向けた中小機構とその他支援機関の施策の例

- 認知・理解: J-Net21 普及・啓発セ
- 現状把握: チェックシート (自社の取組状況を確認するためのチェックシート)
- 相談・アドバイス: CNオンライン相談 (全国の事業者を対象、地域によるサポート体制あり)
- 実行: ハンズオン支援 (関係者・関係機関と連携して、現場での取組をサポート)
- 補助金・融資制度: 事業再構築補助金(グリーン成長枠) (中小企業・小規模事業者の成長を支援)
- 支援機関への対応: 講習会・研修 (事業者が自ら取組を進めるための支援)

神奈川県 (補助金・助成金・融資、セミナー・イベント情報)

神奈川県のカーボンニュートラルに関連する「補助金・助成金・融資」や「セミナー・イベント」の情報をまとめています。

神奈川県

- > [セミナー・イベント: 「関東経営局×近畿経営局」クレジットオムニバスセミナーを開催します](#)
- > [セミナー・イベント: 「カーボンニュートラルへ取り組み 工場見学・体験」](#)
- > [セミナー・イベント: 「2024年度 よくわかる！エコアクション21 入門説明&相談会」](#)
- > [【神奈川県】補助金・助成金: 「中小企業省エネルギー設備導入費補助金」](#)
- > [【神奈川県】補助金・助成金: 「自家消費型再生可能エネルギー導入費補助金」](#)
- > [【神奈川県】事業者募集: 「かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証制度」](#)
- > [【神奈川県】支援情報: 「中小企業CO2排出量管理システム導入支援事業」](#)
- > [【神奈川県】専門家による支援: 「中小企業省エネルギー診断支援事業」](#)

横浜市

- > [【横浜市】補助金・助成金: 「太陽光発電導入支援助成金」](#)

横須賀市

「J-GoodTech」のご紹介 販路拡大や技術開発の連携に活用

- 全国の中小企業、大手企業、海外企業をつなぐビジネスマッチングサイトで、利用料は無料、約38,000社が登録しており、年間約10,000件のマッチングが行われています。
- 大手パートナー企業から常時多数の引き合い案件（ニーズ）が掲載されており、問い合わせ機能を通じて直接コンタクトができます。
- 展示会や商談会の特設サイトでも、カーボンニュートラルの推進に貢献する製品やサービス、技術をPRできます。

ビジネスマッチングサイト「J-GoodTech」



<https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/about/>

- 新規事業の課題解決 (研究開発)**
製品開発を行うパートナーや、新しいサービスを生み出す連携先を探したい。
- 既存事業の課題解決 (調達・加工・量産)**
既存事業に付加価値を足したり、新市場・新分野・海外に踏み出したい。
- 効率化と見える化 (受託)**
事業の効率化を図るために外部のサービス、技術、知見を活用していきたい。
- 協力関係の構築 (事業連携)**
生産、技術、販売などにおいて、お互いの強みを連携していきたい。





中小機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

【申込・照会先】（独）中小企業基盤整備機構 関東本部
企業支援課（担当：中村・鎌田）

電話

03-5470-1637

メール

nakamura-tak@smrj.go.jp
kamata-y@smrj.go.jp

